

2013年(平成25年)

9月20日

金曜日
彼岸の入り

新潟日報

題字 會津 八一

佐渡

佐渡支局
〒952-0006
佐渡市春日1143-9
0259(27)2495
(27)4811
ファクス (27)2090

古里の良さ再発見

地元出身の神蔵さん



徒歩で佐渡1周を果たした神蔵勇さん(18日、佐渡市
西津湊)

10日かけ徒歩で島1周

佐渡市出身の男性が18日までの10日間、佐渡1周約220キロを歩いて旅した。「古里のことをよく知りたい」と始めたが、自然や人情に触れ、佐渡の良さを再発見した旅になった。

この男性は東京都小金井市在住の神蔵勇さん

(65)。神蔵さんは先月、誕生日を迎えたのを機に、徒歩での佐渡1周を思い立った。東京の商社を定年退職したが、古里のことを聞かれてもよく答えられず、これまで悔しい思いもしていたという。

9日に実家のある西津湊

途中、残暑に苦しめられたが、沿道の家や郵便

局から飲み物やお菓子の差し入れを受け、人情の厚さを実感したという。晴れた日には日本海や潮風、佐渡に多い史跡が心を和ませた。民宿で主人や宿泊客と酒を酌み交わしたり、集落の祭りに参加したりと人との出会いも楽しんだ。

18日午後、親戚が出迎える中、西津湊に無事ゴール。神蔵さんは「各地で風景も方言も違い、驚くことが多かった。次は孫とキャンプにきたい」と充実した表情を浮かべていた。